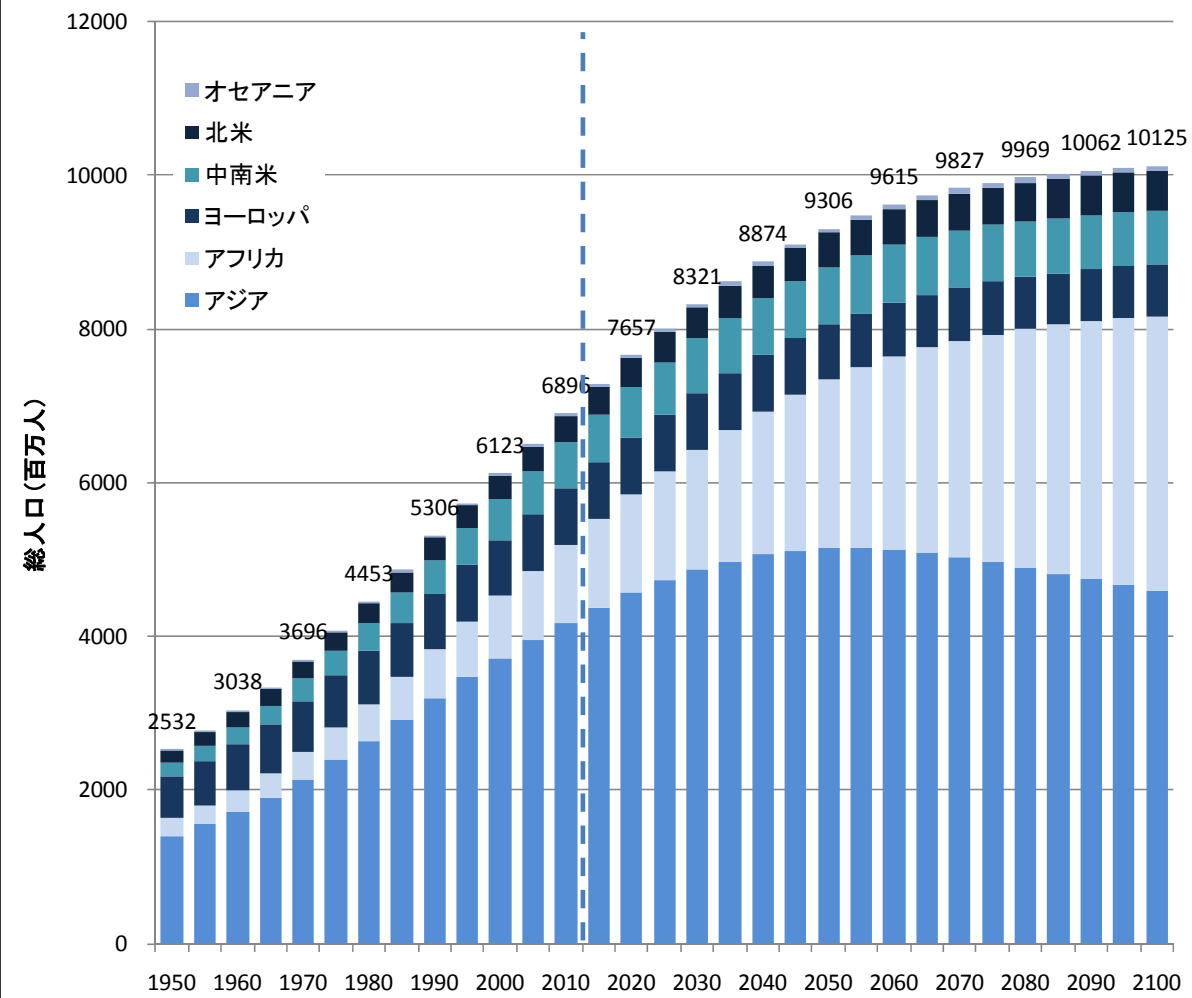


世界の人口予測、農地面積や森林面積等の予測

人口予測

- 世界の人口は、主に発展途上国において長期的に増加する傾向にあり、この傾向は今後も継続するとみられている。

- ・世界の人口は20世紀半ばには30億人未満であったが、その後アジアやアフリカを中心に急速な増加を続け、現在70億人を超えようとしている。
- ・今後は、次第に増加のペースは鈍化していくものの、2020年代には80億人、2040年代には90億人、2080年代には100億人に達するものと推計されている。



出典：United Nations Population Division. World Population Prospects :2010 Revision

注：将来推計については中位推計を使用

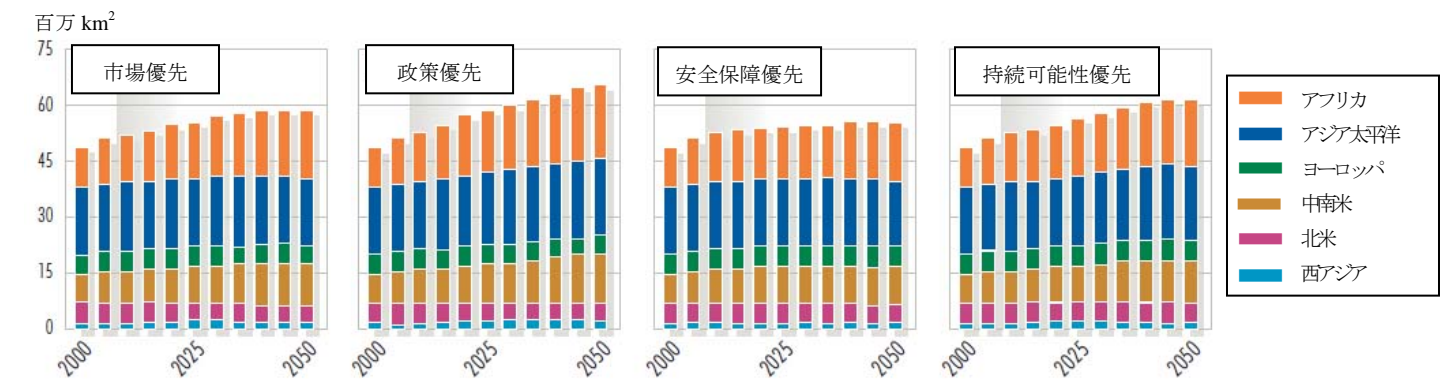
農地面積や森林面積等の予測

- アフリカを中心に、世界全体の農地面積の増加が予測されている。一方、森林面積は減少が予測され、特にアフリカにおいて顕著である。

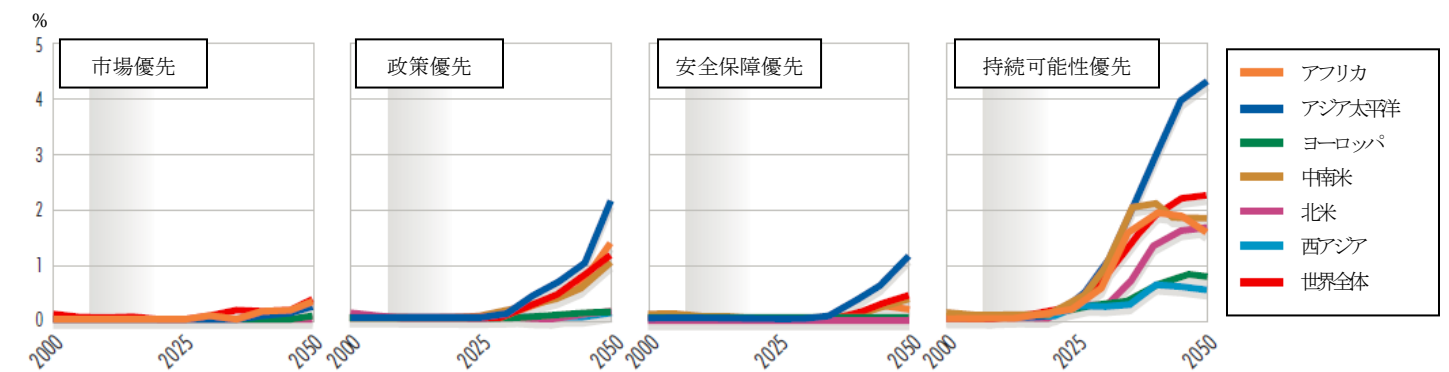
4つのシナリオ（下記）に基づき、2050年までの将来を予測した結果。

- ・ **市場優先シナリオ**：経済成長だけでなく、社会・環境分野での改善の達成において市場が果たす役割を信頼するもの。
- ・ **政策優先シナリオ**：高度に中央集権化されたアプローチで、潜在的な環境や社会面での影響を緩和させながら、強力な経済成長とバランスさせようとするもの。
- ・ **安全保障優先シナリオ**：安全保障の重視が他の価値に一貫して影響を及ぼすもの。人々の物理・精神両面での生活方法への制約（人と物の移動制限等）が増加。
- ・ **持続可能性優先シナリオ**：全てのレベル（地方、国、地域、国際）の、全セクター（政府、民間、市民）からの主体が、環境や社会上の懸念に対処するために表明した約束を実際に順守することを想定するもの。

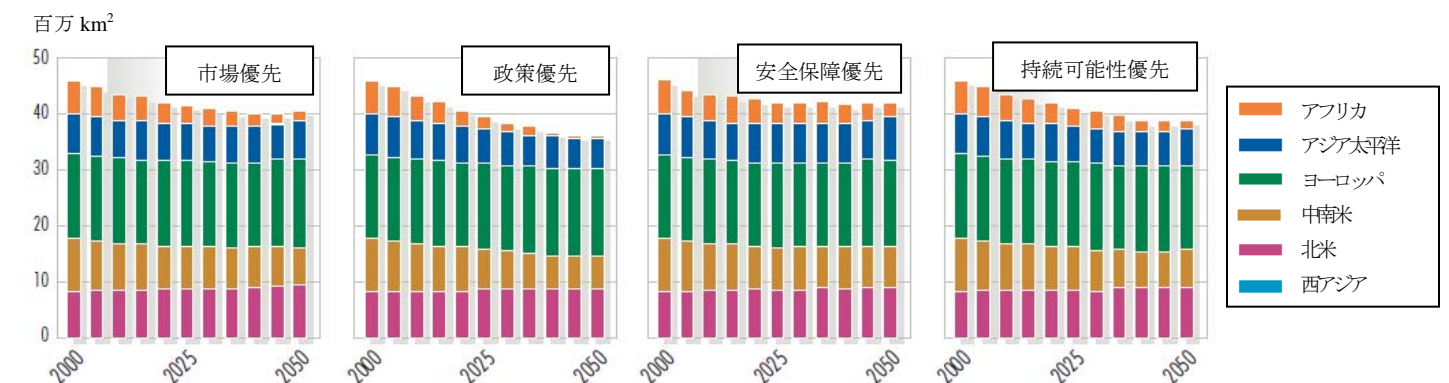
農地及び牧草地の面積



陸地に占めるバイオ燃料*栽培地の割合



森林の面積



出典：UNEP (2007) GEO4-Environment for development

IMAGE (Integrated Model to Assess the Global Environment)を用いた将来予測の結果

※ ここではモダンバイオ燃料（エタノール等の原料となるトウモロコシ等）を指す